

全学メールの利用

名古屋大学 情報基盤センター
情報基盤ネットワーク研究部門
嶋田 創

全学メールサービス

- 名大ID所持者にメールアカウントを提供
 - <http://www.icts.nagoya-u.ac.jp/ja/services/numail/>
検索情報: 名大 全学メール
 - 自分のメールアカウントの確認も可能(名大IDでログイン)
 - Webメール(ブラウザから使える)もあります
 - <https://www2.itc.nagoya-u.ac.jp/zengakumail/>
 - 全学メールやメディアセンターのページからリンクをたどる
- メディアセンターに入っているメールクライアントではMozilla Thunderbirdを推奨
- Mozilla Thunderbird設定方法
 - <http://www.icts.nagoya-u.ac.jp/ja/services/numail/settings/thunderbird.html>
 - 検索案内: 名大 設定 Thunderbird



Thunderbird設定(1/3)

1. Thunderbirdを立ち上げる
2. Altボタンを押してメニューバーを表示させる
3. 「ファイル→新規作成→既存のメールアカウント」で次の入力欄を表示させる
4. 名前、メールアドレス、パスワードを入力して「続ける」を押す

メールアカウント設定

あなたのお名前(N): 姓 名 受信者に表示される名前です。

メールアドレス(L): familyname.firstname@a.mbox.nagoya-u

パスワード(P): ●●●●●●●●●●

パスワードを記憶する(M)

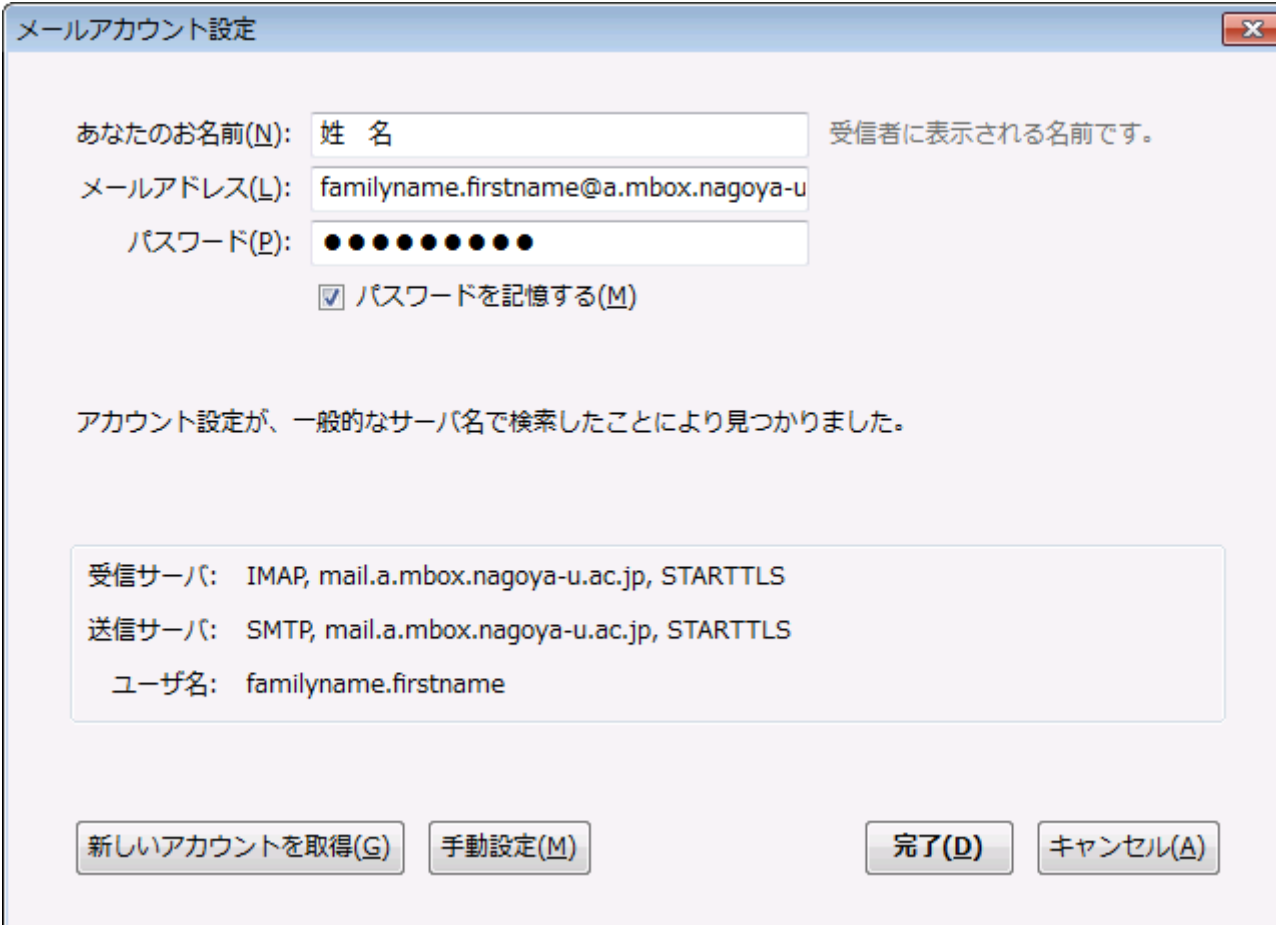
新しいアカウントを取得(G)

続ける(C)

キャンセル(A)

Thunderbird設定(2/3)

5. Thunderbirdが気をきかせてサーバを設定してくれるが、「手動設定」を押して修正



メールアカウント設定

あなたの名前(N): 姓 名 受信者に表示される名前です。

メールアドレス(L): familyname.firstname@a.mbox.nagoya-u

パスワード(P): ●●●●●●●●

パスワードを記憶する(M)

アカウント設定が、一般的なサーバ名で検索したことにより見つかりました。

受信サーバ: IMAP, mail.a.mbox.nagoya-u.ac.jp, STARTTLS
送信サーバ: SMTP, mail.a.mbox.nagoya-u.ac.jp, STARTTLS
ユーザ名: familyname.firstname

新しいアカウントを取得(G) 手動設定(M) 完了(D) キャンセル(A)

Thunderbird設定(3/3)

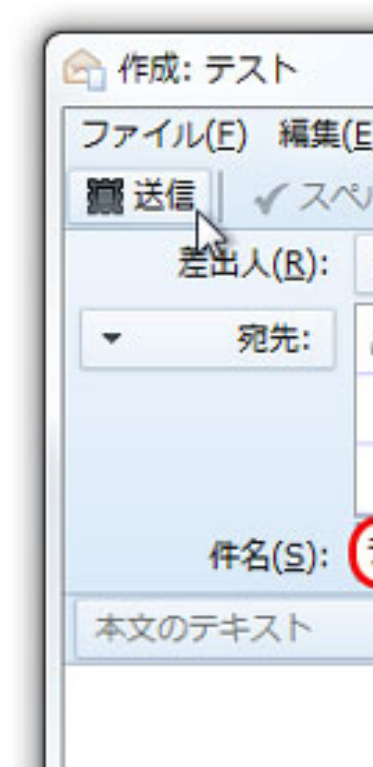
注: *は自分のメールアドレスの「mbox」の前の部分のアルファベットを入れる

6. 「受信サーバ」を「IMAP」「mail.*.mbox.nagoya-u.ac.jp」「993」「SSL/TLS」に変更
7. 「送信サーバ」を「mail.*.mbox.nagoya-u.ac.jp」「587」「STARTTLS」に変更
8. 「ユーザ名」を自分のメールアドレスに変更
9. 「再テスト」を押し、何も文句を言われなければ「完了」を押し

	サーバのホスト名	ポート番号	SSL	認証方式
受信サーバ:	IMAP ▼ mail.a.mbox.nagoya-u.ac.jp	993 ▼	SSL/TLS ▼	通常のパスワード認証 ▼
送信サーバ:	SMTP mail.a.mbox.nagoya-u.ac.jp ▼	587 ▼	STARTTLS ▼	通常のパスワード認証 ▼
ユーザ名:	iame@a.mbox.nagoya-u.ac.jp			

送受信のテスト

- [作成]をクリック
 - メッセージ作成のウィンドウが開く
- [宛先]欄に自分のメールアドレスを記入
- [件名]欄に「テスト」などの件名を適当に記入
- 大きな記入欄に本文を適当に記入
- [送信]をクリック
- [受信]をクリックし送信したテストメールが届いているかどうかを確認



標準的なメールの書き方

- [宛先]欄に送信先メールアドレスを記入
- 複数の送信先があるならば、下の空欄の冒頭をクリックして [宛先]を追加
 - 内部的には、以下のようにカンマで区切られて送信
hoge@a.mbox.nagoya-u.ac.jp, bar@gmail.com
- [件名]の欄にメールのタイトルを入力する
- 送りたいメッセージを書く
 - 標準的には、宛名、本文(所属と氏名から書き出す)、署名、の順で書く
- メッセージが完成したら宛先を確認し[送信]

標準的なメールの書き方の例

〇〇社 鈴木様

丁寧であると同時に、送信先を間違えた時、
相手も分かりやすい

名古屋大学XX学部の田中と申します。

大学生を対象としたインターンシップの件につきまして
問い合わせをさせていただきます。
募集要項では……

簡潔かつ明瞭に内容を記述

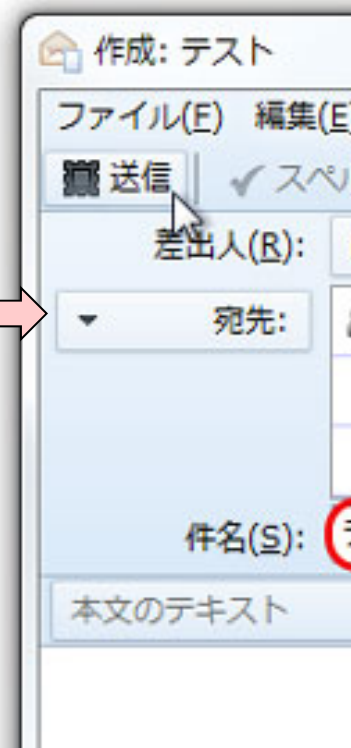
田中 宏 (Hiroshi Tanaka)
名古屋大学 XX学部 1年

定形の署名(signature)を作っておき、
メールクライアントに付けさせると便利

送信先に関連した情報

- 宛先(To)フィールド
 - 列挙した場合、送信先同士に宛先が分かる点に注意(Ccも同様)
- 件名(Subject)フィールド
- Cc(carbon copy)フィールド
 - 「参考までに情報を送る」という相手に利用
- Bcc(blind carbon copy)フィールド
 - 送信先同士で宛先が分かって欲しくない場合に利用
- Reply-Toフィールド
 - 返信時に別メールアカウントを指定した場合に利用

ドロップダウン
ボックスで
変更可能



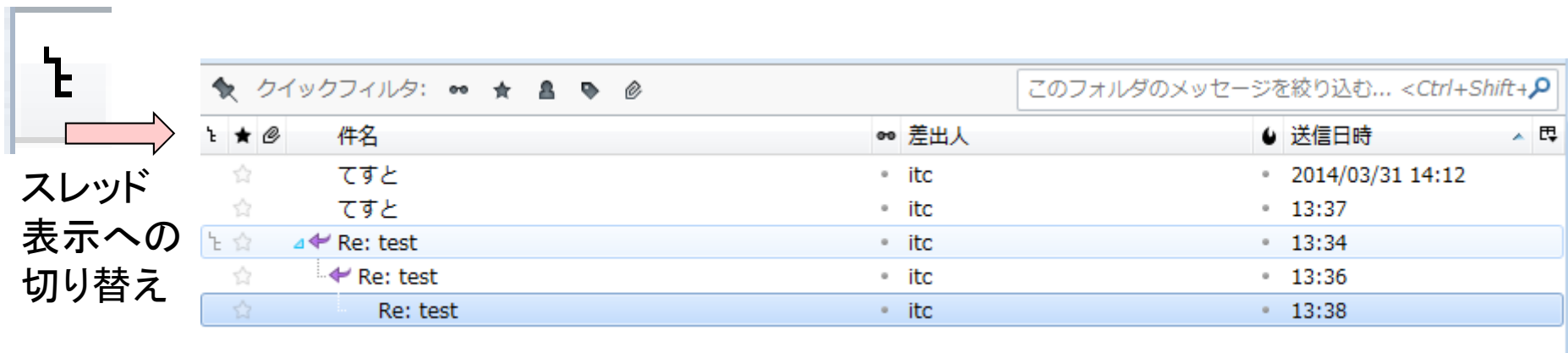
返信

- メールに対して返信する場合、新規作成ではなく、[返信]をクリックして作成
 - メールに「Reply-To」という「どのメールに対する返信か」という情報が付加される
- 「全員に返信」という選択肢が出る場合もあります
 - 宛先が複数人に渡るメールの受信時に出る
 - 「全員に返信→一部の宛先の削除」という使い方もできます



返信とスレッド表示

- [返信]でメールを返信した場合、メール内に返信情報が追加されます
- スレッド表示にすることで、返信履歴を強調した一覧表示にできます
- 返信すると「Re:」が件名に追加されます
 - ラテン語のre(～について)が由来
 - 話題が変わったら「新話題(Was:...)」にするなど、派生した使い方もいろいろあり



スレッド表示への切り替え

件名	差出人	送信日時
てすと	• itc	• 2014/03/31 14:12
てすと	• itc	• 13:37
Re: test	• itc	• 13:34
Re: test	• itc	• 13:36
Re: test	• itc	• 13:38

発展: メールヘッダを覗いてみよう

- 「その他の操作→ソース」で確認可能
- 加工されていないメールの情報が見える
- 経由したメールサーバ、使ったメールクライアント、なども確認可能

```
Return-Path: <shimada@itc.nagoya-u.ac.jp>
Received: from j.mbox.nagoya-u.ac.jp ([unix socket])
    by j.mbox.nagoya-u.ac.jp (Cyrus v2.3.16-Fedora-RPM-2.3.16-6.el6_2.5) with LMTPA;
    Mon, 31 Mar 2014 14:12:14 +0900
X-Sieve: CMU Sieve 2.3
Received: from mailrelay2.icts.nagoya-u.ac.jp (mailrelay2.icts.nagoya-u.ac.jp [133.6.186.26])
    by j.mbox.nagoya-u.ac.jp (Postfix) with ESMTP id C5821A1CA5
    for <shimada.hajime@j.mbox.nagoya-u.ac.jp>; Mon, 31 Mar 2014 14:12:14 +0900 (JST)
Received: from mailbackup2.icts.nagoya-u.ac.jp (mailbackup2.icts.nagoya-u.ac.jp [133.6.186.25])
    by mailrelay2.icts.nagoya-u.ac.jp (Postfix) with ESMTP id B36CB18D1E17
    for <shimada.hajime@mailrelay2.j.mbox.nagoya-u.ac.jp>; Mon, 31 Mar 2014 14:12:14 +0900 (JST)
Received: from virus-04.mbox.nagoya-u.ac.jp (virus-04.mbox.nagoya-u.ac.jp [133.6.121.15])
    by mailbackup2.icts.nagoya-u.ac.jp (Postfix) with ESMTP id A991915E8063
    for <shimada.hajime@j.mbox.nagoya-u.ac.jp>; Mon, 31 Mar 2014 14:12:14 +0900 (JST)
Received: from nups01.itc.nagoya-u.ac.jp (nups01.itc.nagoya-u.ac.jp [133.6.82.132])
    by virus-04.mbox.nagoya-u.ac.jp (Postfix) with ESMTP id A53219FFA7
    for <shimada.hajime@j.mbox.nagoya-u.ac.jp>; Mon, 31 Mar 2014 14:12:14 +0900 (JST)
Received: from localhost (unknown [133.6.90.249])
    by nups01.itc.nagoya-u.ac.jp (Postfix) with ESMTPA id 5A4C3B6517;
    Mon, 31 Mar 2014 14:11:49 +0900 (JST)
Date: Mon, 31 Mar 2014 14:12:30 +0900 (JST)
Message-Id: <20140331.141230.1366151731969838285.shimada@itc.nagoya-u.ac.jp>
To: shimada.hajime@j.mbox.nagoya-u.ac.jp
Cc: shimada@itc.nagoya-u.ac.jp
Subject: =?iso-2022-jp?B?GyRCJEYkOSRIGyhC?=
From: Hajime Shimada <shimada@itc.nagoya-u.ac.jp>
X-Mailer: Mew version 6.5 on Emacs 24.3 / Mule 6.0 (HANACHIRUSATO)
Mime-Version: 1.0
Content-Type: Text/Plain; charset=iso-2022-jp
Content-Transfer-Encoding: 7bit
```

経由した
サーバ

メールクライアント名

メール送受信で注意すること(1/2)

- その送信先をTo(宛先)やCcに列挙して大丈夫?
 - 送信者間でメールアドレスが見えてしまう
 - 必要に応じてBccを使いましょう
- マルウェア(コンピュータウイルス)
 - 名大ではメールサーバでチェックはしているが、検出率は下がる傾向にある
 - そもそも暗号化されているとチェックできない
 - 件名に「[WARNING - ENCRYPTED ATTACHMENT NOT VIRUS SCANNED]」という文字が付加される
 - うっかり転送すると、あなたがマルウェア送信者に見えるので注意
 - というか、大学のメールサーバがマルウェア送信サーバになるので、メールの転送設定には注意

送信経路の怪しいメールの例

- Fromは日本のTOPS Systemsだけど
- 最初の送信メールサーバはvps.enlacediseno.com (enlacediseno.comはメキシコで登録されているドメイン)
 - 送信元IPアドレスに至ってはアルジェリア

```
20 Received: from mxsc-3.nagoya-u.ac.jp (mxsc-3.nagoya-u.ac.jp [133.6.1.63])  
21     by mailbackup2.icts.nagoya-u.ac.jp (Postfix) with ESMTP id EDFC015E8058  
22     for <shimada@itc.nagoya-u.ac.jp>; Thu, 26 Nov 2015 00:37:56 +0900 (JST)  
23 X-AuditID: 8506013f-f79856d000002853-9e-5655d5d4e0da  
24 Received: from vps.enlacediseno.com (vps.enlacediseno.com [67.23.251.149])  
25     by mxsc-3.nagoya-u.ac.jp (Symantec Messaging Gateway) with SMTP id 6A.54.10323.4D5D5565;  
26 Thu, 26 Nov 2015 00:37:56 +0900 (JST)  
27 Received: from [41.107.216.37] (port=54136 helo=gbcryp.net)  
28     by vps.enlacediseno.com with esmtpsa (UNKNOWN:DHE-RSA-AES256-GCM-SHA384:256)  
29     (Exim 4.80)  
30     (envelope-from <yukoh@topscm.co.jp>)  
31     id 1a1c8X-0004aQ-RK; Wed, 25 Nov 2015 10:37:39 -0500  
32 From: <yukoh@topscm.co.jp>
```

全学ウェブメールの使い方(1/3)

<https://www2.itc.nagoya-u.ac.jp/zengakumail/>

検索情報: 全学メールのページ(名大 全学メール)からリンクをたどる

1. 「電子メールアドレス」にメールアドレスを入力
2. 「電子メールパスワード」に名大IDパスワードを入力

[English version at the bottom](#)

全学メールログイン	
電子メールアドレス:	<input type="text"/> @ <input type="text" value="ドメインを選択して下さい"/>
電子メールパスワード:	<input type="password"/> <input type="button" value="全学メールログイン"/>
重要なお知らせ	

全学ウェブメールの使い方(2/3)

4. 自分のメールアドレスに含まれているアルファベットのサーバのウェブメールサービスに到着する
5. 「ユーザ名」にメールアドレスの@より前を入力
6. 「パスワード」に名大IDパスワードを入力



ブラウザのアドレスバーには https://mail.j.mbox.nagoya-u.ac.jp/webmail/?_task=logout が表示されています。

ページの左上には **roundcube** のロゴと *Free webmail for the masses* の文言があります。

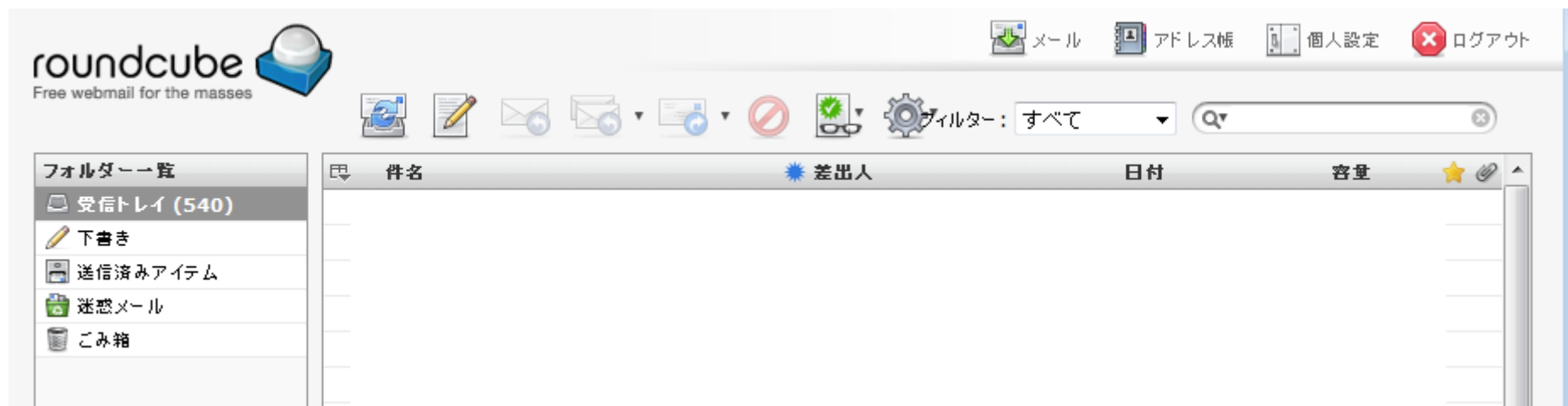
中央にはログインフォームがあり、タイトルは「ようこそ j.mbox.nagoya-u.ac.jp Webmail へ」です。

フォームには以下の項目があります：

- ユーザー名:
- パスワード:
- ログインボタン:

全学ウェブメールの使い方(3/3)

- 作りは一般的なメールソフトとあまり差はありません
 - いちいちウェブメールサーバと通信するので、通信回線が遅いと動きが遅くなる点に注意
- アドレス帳などはThunderbirdとは共用できません
 - Thunderbird間はアドレス帳の書き出し/取り込みは可能



Tips

- よく使う送信先はアドレス帳を使うと便利
 - 「選択→メッセージ作成」でメール作成
 - シフト+クリックで複数選択も可能
- 署名の設定はアカウントの設定から
 - メールアカウントを選択
 - 「このアカウント設定を表示する」をクリック

1. メールアカウントを選択

署名の設定

The screenshot shows the Thunderbird Mail interface. A red arrow points to the 'shimada.haj...oya-u.ac.jp' account in the left sidebar. Another red arrow points to the 'このアカウントの設定を表示する' (Show settings for this account) option in the 'アカウント' (Accounts) section on the right. The interface includes a top toolbar with '受信' (Receive), '作成' (Compose), 'アドレス帳' (Address Book), and 'クイックフィル' (Quick Filter). The main pane shows 'Thunderbird Mail - shim' with sections for 'メール' (Mail) and 'アカウント' (Accounts).

2. 設定を選択

最近の話題

- ランサムウェア(身代金ウィルス)がはやっています
 - zip圧縮された添付ファイルでよく来るので注意しましょう
 - PC側が「何か」
 - Adobe Flashの脆弱性を使う例も多いので、Adobe Flashは常に最新版にアップデートしておきましょう
 - ウェブ広告に悪性Flashが紛れ込んでいる例がちょくちょくある
 - できれば、ブラウザ側はFlash Blockのような物を入れて、クリックしない限りFlashは動かなくようにしておきたい
 - スキの多いランサムウェアでは、専用ツール暗号化された物を回復できることがあります
 - あきらめず、アンチウイルスソフトウェア会社の情報などを調べましょう
 - 偽の情報でさらに罠にかけてくる例もあるので注意